

あきた白神体験センター

令和8年度

利用の手引き(学校用)



マスコットキャラクター
カヤッポー



あきた白神体験センター

〒018-2617 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台 53-1

電話 0185(77)4455 FAX 0185(77)4456

URL <https://www.town.happo.lg.jp/shirakami-taiken>

メール shirakami-tc@town.happou.akita.jp

目次

I センターからのお願い … 3	VII 健康・安全管理 …11
1 時間を守って行動	1 健康・安全を確保するために
2 使用物品の整理整頓	2 医療機関への連絡
3 飲食できる場所	3 火災・地震・津波等の災害に備え
4 食中毒・感染症の予防	
5 ゴミの処理	
6 省エネにご協力を	
II 利用までの流れ … 4	VIII プログラムの作成 …13
	1 作成手順
	2 留意点
	3 体験活動時の引率者の役割
	4 マイクロバスの利用
	5 他団体との利用調整
	6 活動の進め方
III 利用に際し持参する物 … 5	IX 体験活動メニュー …17
1 宿泊や活動全般に必要な物（例）	1 山の活動
2 体験活動に必要な物（例）	2 海の活動
	3 創作活動
	4 ニュースポーツ&レク
	5 食づくり
	6 防災教育関連活動
IV ご利用にあたって … 6	X 経費と支払い …23
1 入所（チェックイン）手続き	1 宿泊関係の施設利用料
2 オリエンテーション	2 日帰り体験時の施設利用料
3 宿泊室への入室	3 外注食の料金
4 シーツの受取とベッドメイク	
5 退所（チェックアウト）	
V センターでの生活 … 7	資料 （HPからもダウンロード可）
1 標準生活時間	利用計画書書式
2 寝具の取り扱いと清掃	食物アレルギー調査票
	メニュー食材一覧等
VI レストランと温泉施設利用 …10	
1 ハタハタ館レストランの利用	
2 ハタハタ館温泉の利用	

I センターからのお願い

1 時間を守って行動

体験活動前の服装・用具の準備は時間の見直しをもって行い、活動の開始時刻に、全員が揃うようにしてください。館内は走らず、できるだけまとまって動いてください。

入浴は運営主体の違う隣接施設を使用するので「午後9時まで」の利用終了を厳守してください。

2 使用物品の整理整頓

- (1) ベッドメイキングと宿泊室の清掃は協力して行いましょう。
- (2) 活動場所の清掃や使用物品の片付けも行いましょう。

3 飲食できる場所

次に宿泊室を利用する人もきれいな部屋で気持ちよく生活できるように、宿泊室での飲食は御遠慮ください。

- (1) 飲食は、各階の談話ホールおよび談話スペースを御利用ください。引率者と共に飲食する場合は、研修室、多目的ホール内も飲食の場として利用できます。
- (2) 団体が注文した飲料は2階の「準備室」冷蔵庫にあります。取り出しや児童生徒への配付は、各校で行ってください。（飲料の箱に学校名と使用月日を記載しています。）

4 食中毒・感染症の予防

- (1) 食づくり体験や食事前、活動等の前後には手洗い・消毒をしましょう。
- (2) センター食や外注弁当などの残食は持ち帰らずに処分しましょう。
- (3) 嘔吐や発熱があった場合は、すぐにセンター事務室へお知らせください。

5 ゴミの処理

- (1) 各校で持ち込んだ物から出たゴミは、原則としてお持ち帰りください。
- (2) センターで購入した物から出たゴミは、センター内の指定の場所へ捨ててください。

6 省エネにご協力を

- (1) 活動等で宿泊室を離れる場合は、電気を消すことをおすすめします。
また、夏場は部屋のカーテンを閉めると室温が上がりにくくなります。
- (2) 水道栓はきっちり締めて、水を流したままにしないようにお願いします。

Ⅱ 利用までの流れ

時期・期限	手続き・変更の連絡	方法・手順・備考
前年度	予約受付（11月頃）	・当センター利用校には「次年度利用申込票」を送付します。※先行予約の終了後も、次年度の予約を随時受け付けます。
※2か月前	事前打合せ	・下見や事前打ち合わせで来所する場合は、電話でお問い合わせください。
4月中旬 5月下旬	学校団体 利用説明会	・説明会中に素案を作成します。 ※5月上旬に宿泊予定の学校には、必要に応じて計画作成の相談に対応いたします。
30日前	書類提出① 「利用計画書」の提出	・HPより用紙をダウンロードして作成。 メールで提出してください。
約2週間前	書類提出② 「しおり」日程ページの提出 「アレルギー調査票」と「アレルギー代替え・除去調査票」の提出	・活動内容、所要時間、食事時間を確認します。 ・給食で食物アレルギー対応をしている子の食物アレルギーについて教えてください。 メールで提出してください。
10日前まで	・食づくり体験のオールキャンセル ・飲料注文の数の変更	・期限後のキャンセルや変更は、発注済みの分を実費御負担いただく場合があります。 ・体験センターに納品済みとなった飲料は実費負担の上、お持ち帰り願います。
5日前まで	・食づくり体験の人数の変更	・人数の変更がある場合はお知らせください。 ・原則、4日前から当日の変更は対応できません。実費御負担願います。
2日前の午前まで (第4火曜日 を挟む場合は 3日前まで)	・センター食のオールキャンセル	・「利用計画書」の提出後、食数に変更が生じた場合はその都度お知らせください。 ・センター食のオールキャンセルのキャンセル料は前日50%、当日100%です。
前日の午前まで	・センター食の食数変更 ・弁当、おにぎりセットの減数変更	・前日午後からのセンター食の食数変更は対応できません。実費ご負担いただきます。
利用当日	書類提出③ 「しおり」冊子 ・利用者数の最終確認	・代表者は入所時にフロントで受付手続きをしてください。 ・会計担当者は事務室で請求書・利用明細書を御確認ください。 ☆「しおり」を作成している学校は、1部提出してください。

- ・「宿泊人数」（日帰り団体は「来所者数」）に変更が生じる場合はその都度お知らせください。
- ・「利用計画書」「アレルギー調査票」「アレルギー代替え・除去調査票」「センター食メニュー別の食品一覧」等の書式や資料は、体験センターホームページからダウンロードできます。

Ⅲ 利用に際し持参する物

次に記載した物品を参考に、各団体で必要なものをご持参ください。

1 宿泊や活動全般に必要な物（例）

【児童生徒個人】

- 上履き
- 活動のしおり
- 筆記用具
- 着替え
- 帽子
- タオル（洗顔・入浴用として複数枚）
- 洗面歯磨きセット（センター洗面所にうがい用コップはありません）
- ※シャンプー、リンス、ボディソープ、ドライヤーはハタハタ館（脱衣室）に備え付けられています。
- ※服装は、脱ぎ着しやすく汚した場合にも洗ってすぐ乾く体育着がおすすめです。山の活動を選択しているときは、暑い夏でも長袖長ズボンを持参しましょう。

【団体】

- 利用の手引き
- 活動のしおり（提出用）
- 緊急連絡名簿等
- ゴミ袋（持ち込んで出たゴミは原則お持ち帰りいただきます。）
- ※ラジオ体操CDとCDラジカセは体験センターにあります。
- ※学校判断で必要により救急セットや児童生徒の保険証写しなど。

2 体験活動に必要な物（例）

【海の体験活動】

- 日焼け止め
- 水泳バッグ（水着、水泳帽、体拭きタオル、濡れた物を入れる袋）
・水着の代わりに短パンとTシャツ（ラッシュガードと組み合わせるなど）でも可。
- 虫除けスプレー（7～8月はアブ対策に）
- 水分補給用の飲料（熱中症予防対策として）

【山の体験活動】

- マダニ、蚊、アブなどの虫害対策のため肌をできるだけ隠せる服装を心掛けましょう。山の活動では、くるぶしまでの高さのソックスを避け、長めの靴下を準備しましょう。
- 熊除け鈴
 - 虫除けスプレー
 - 長袖・長ズボン（半袖やショートパンツで肌を出すのは×）
 - 帽子
 - 首に巻くタオル（襟元からの虫の侵入を防いだり汗を拭いたり）
 - 手袋（軍手）
 - 水分補給用の飲料（熱中症予防対策として）

（前日、当日の気象予報によっては次の物も必要になります）

- カッパ
- 長靴
- 防寒着（低温時）

【食づくりの体験活動】

- 学校で行う調理実習の時の服装をイメージしてください。
- エプロン
 - 三角巾（頭髪を覆うもの）
 - 手拭き用ハンカチ（ハンドタオル）

IV ご利用にあたって

1 入所（チェックイン）手続き

(1) 主担当者は、事務室で入所の手続きをしてください。

<入所時の確認事項>

- 来所人数の確認
- 食事注文数、食物アレルギー対応、食事開始時刻の確認
- 活動計画の確認（天候による変更等の相談）
- セーフティスタッフ（体験活動の安全確保に協力いただく方）の確認

(2) 会計担当者は、事務室で会計の確認をしてください。

- ・利用明細書の内容を御確認ください。支払いは原則、振込払いをお願いします。
- ・「児童生徒・職員を分けた利用明細の発行」や「利用明細書以外に領収証が必要な場合」など会計上の御要望は、事前（できるだけ早め）に御相談ください。

2 オリエンテーション（宿泊者全員参加）

入所式のあとにセンタースタッフが「所内生活のルールやマナー」「施設案内」について説明します。オリエンテーションには約15分いただきます。（入所式とあわせて30分を御計上ください。）

3 宿泊室への入室

通常はオリエンテーション後に宿泊室へ荷物を入れられます。

前日に他の団体による宿泊があったときは、宿泊室の清掃作業が終わってから入室できるようになります。昼食後まで指定の場所に荷物を置いてもらうこともあります。

- ・101号室～115号室…1階
- ・201号室～211号室…2階

4 シーツの受取とベッドメイク

各団体で設定したベッドメイクの時間に行ってください。宿泊棟の廊下中央にシーツと枕カバーを置いています。引率者が立ち会い、枚数を確認しながら配付してください。

- ・1人分は「シーツ2枚・枕カバー1枚」です。
- ・1階と2階のシーツはサイズが異なるので宿泊する階の廊下から持ち出してください。

5 退所（チェックアウト）

(1) 退所の手続き

- 施設利用に関するアンケートを提出してください。
- 退所式（利用団体側の計画で実施してください）
- 児童生徒ペナント掲示（玄関の「白神仙人」像にペナントを掲示してください）

(2) 会計について

振込払い（利用後～30日後までの期間に）

「八峰町」と「体験センター友の会」の2カ所への振込になります。

☆体験センターの宿泊料、施設使用料、体験料は八峰町の納入通知書で振込。

指定金融機関を利用すると振込手数料は無料。

☆ガイド料、食事代、入浴料、協力団体が提供する食づくり体験料などは「あきた白神体験センター友の会」指定口座への振込。

「あきた白神体験センター友の会」への振込は手数料がかかりますのでご了承ください。

V センターでの生活

1 標準生活時間

入所日（利用1日目）

<ul style="list-style-type: none"> ・到着（入所時刻）に変更が生じた場合は御連絡ください。体験センターの開館は8時30分からです。到着は8時45分以降に設定してください。 ・午前の体験活動 開始→午前9時以降、終了→正午前 ・午後の体験活動 開始→午後1時以降、終了→午後4時前

退所日（利用2日目）

6:00	起床
6:30	朝の集い 同日宿泊校で活動場所を相談 使用可能場所：多目的ホール、第1研修室、 玄関前、海側の庭
食事開始 7:00 7:30	朝食 10分前からの配膳準備が必要
8:00～ 8:50	宿泊室の清掃および点検
8:20～ 8:50	退室・宿泊者の荷物移動 退所日の荷物置き場を確認のこと
9:00～ 12:00	午前の活動 海や山の自然体験活動など自校のねらいに応じた体験活動を設定する。 昼食に代える食づくり体験などもOK。荒天時の室内活動に創作体験などを設定する。活動前後の控え場所は荷物を置いた研修室など。
食事開始 11:30 12:00 12:30	昼食 センター食を利用の場合は、10分前からの配膳準備が必要。センター食以外では、敷物を持参してホールや芝地で弁当食（外部注文食）も可能。
昼食後	退所式

入所 8:45～ 9:00～ 12:00	入所式・オリエンテーション 午前の活動 海や山の自然体験活動など自校のねらいに応じた体験活動を設定する。 昼食に代える食づくり体験などもOK。荒天時の室内活動に創作体験などを設定する。
食事開始 11:30 12:00 12:30	昼食 ハタハタ館でのセンター食利用は、左の時間内に設定。10分前からの配膳準備が必要なため、午前の活動は余裕をもって終わられる計画を。
13:00～ 16:00	午後の活動 自然体験活動等からメインとなる活動を設定。荒天時の活動プログラムは創作体験などから選択。
活動後～	入浴 ハタハタ館の温泉 21:00 までに体験センターへ戻れるようにすること。
食事開始 17:00 17:30 18:00	夕食 10分前からの配膳準備が必要。センター食の時間は、事前の手洗い・配膳、事後の片付けまで60分は確保すること。
18:00～ 20:30	夜の活動 設定する場合は、各団体が企画・指導のこと。多目的ホールや研修室の使用が可能。
22:00	消灯

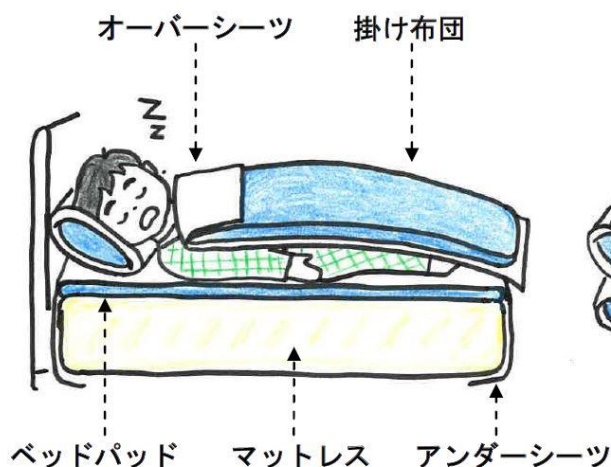


2 寝具の取り扱いと清掃

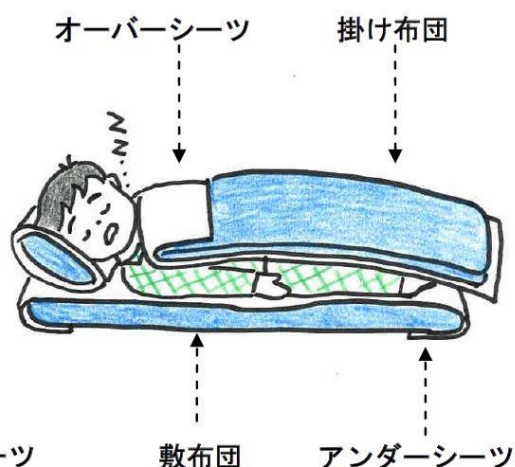
(1) ベッドメイキング

- ① シーツと枕カバーを廊下から運びます。(1人分がシーツ2枚、枕カバー1枚)
※引率者が数を確認しながら配付してください。
- ② 敷布団(2階和室)またはベッドパッド(1階洋室)を敷く。
- ③ アンダーシーツを敷き、その上にオーバーシーツを(枕スペースに重なるように)かける。
- ④ オーバーシーツの上に、掛け布団をかける。
- ⑤ オーバーシーツの余る部分(頭側)を掛け布団の上に折り返す。(ふとんの襟ができます。)
- ⑥ 枕カバーに枕を入れる。枕を置いて…完成!
- ⑦ シーツとシーツの間に寝ます。

【1階洋室】



【2階和室・102号室畳スペース】



(2) ふとんの片付け

【片付け手順】

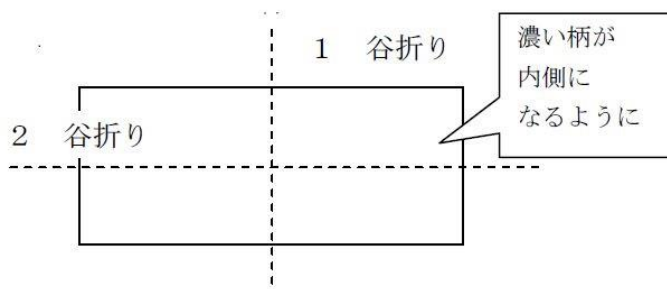
- ① シーツ2枚と枕カバーを丸め、リネン置場の黄色い袋に入れる。
- ② 掛け布団をたたむ。
- ③ 敷布団またはベッドパッドをたたむ。
- ④ 【1階洋室】 ベッドボード側(頭側)に寝具を初めに置かれていたように並べる。
【2階和室】 敷布団と掛け布団を分けて壁側に積み重ねる。



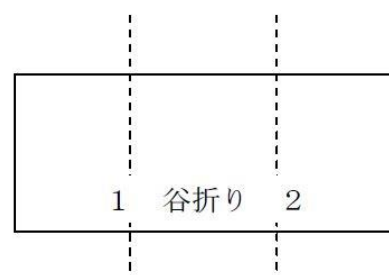
※寝具を汚した時

- ・汚した布団はたたまないで、まずは先生に知らせる。
- ・汚れ具合や破損状況を事務室へ知らせる。
(状態によってはクリーニング代や修理代を別途請求することがあります。)

<かけ布団のたたみ方>



<敷布団のたたみ方>



< 2階和室の布団の重ね方 >

☆布団は押し入れに戻さないで、たたんで重ねます。

☆壁側にそろえます。

☆布団を折り返した輪になっている部分を手前にしてください。



・かけ布団は3～4枚重ねる



・敷き布団は4枚くらい重ねる
・布団の上に枕を置く

(3) 宿泊室の清掃・片付け

【1階宿泊室】

- 廊下中央（シーツ置き場の隣）の掃除用具ロッカーから、部屋番号がついたフロアワイパーを1本とり、ロッカーの上棚にあるワイパーシートをつける。
- 宿泊室の床と宿泊室前の廊下の床をフロアワイパーでふく。
- ワイパーの使用後はワイパーシートを外し、部屋のゴミ箱に捨てる。
- フロアワイパーは廊下のロッカーに戻す。

【2階宿泊室】

- 使用した寝具を、部屋の壁側に上の写真のように整頓する。
- 宿泊室入口の引戸の中に掃除機があるので掃除機がけをする。
- 掃除機は元の場所に戻す。

【各階共通】

- 部屋のゴミ箱のビニル袋は引き出してから口をしぼり、洗面所入り口の燃えるゴミのゴミ箱に捨てる。
- 窓を閉め、カーテンを束ねる。
- エアコンや照明を消す。
- 部屋の常夜灯を戻したかコンセントを確認。
- 忘れ物がないか確認する。
- 先生にチェックしてもらう。
- 8：20から荷物を指定された場所に移動する。

VI レストランと温泉施設(ハタハタ館)の利用

1 ハタハタ館レストランの利用

(1) センター食の食事会場

ハタハタ館のレストランスペースが食事会場です。上限60席で対応しております。
食事人数が「60」を超えるときや、他の団体と利用が重なるときは、時間をずらしてレストランを2回に分けてご使用いただきます。

(2) ハタハタ館レストランからの食事(センター食)を提供できる時間帯

【朝食】 7:00～ 8:30

【昼食】 11:30～13:30

【夕食】 17:00～19:00 (夕食開始は遅くとも18:00)

※申し込んだ食事開始時間での利用をお願いします。

※午前の体験活動の終了時刻が予想しにくい場合(食事開始が遅れそうな場合)などは、弁当やおにぎりセットでの昼食をお勧めします。

(3) 食物アレルギー対応

学校や園の給食で食物アレルギー対応をとっている子を対象に調査してください。

対象となる子がいる場合は、2週間前までに、「アレルギー調査票」「アレルギー代替え・除去調査票」をメールで提出してください。

児童生徒の保護者に確認をとり、事故が発生しないように正しい情報を御提供ください。

(4) 準備方法・手順

①食事係は、手洗いのあと、食事時刻開始の10分前に1階談話ホールに集合してください。
ごはん、汁物、水などの盛り付けと配膳をします。

※食事係の人数は10名程度が望ましいです。引率者も協力してください。

②食事が終わったら、各自による食器の片付けをお願いします。

2 ハタハタ館温泉の利用

(1) 温泉を利用できる時間

・午後の体験活動終了後から21:00まで。

(20:45をめどに浴場から出て着替えに移れるように計画し、21:00までに体験センター側へ戻るように利用してください。)

・引率者も可能な限り午後9時までに御入浴ください。

(ハタハタ館からは、学校引率者のみ特別に午後9時～10時の入浴を認めてもらっていますが、9時を過ぎてからの入浴がある場合は、体験センター事務室からハタハタ館への連絡が必要になりますので、引率者が午後9時以降の温泉入浴を行う場合は日中のうちに事務室へお知らせください。)

(2) 団体での利用時の留意点

・温泉に向かう際に「入浴パスカード」を各自が体験センター事務室から持参し、ハタハタ館のフロントに提示してください。

・入浴後は、「入浴パスカード」を体験センターに返却してください。

・1回での入浴は男子女子とも20人程度が適当です。

・サウナは使用できません。

・脱衣所まで引率者が必ず見守りに行くようにしてください。

(3) 備品

温泉施設は、シャンプー・リンス・ボディソープ・ドライヤー等を備えています。

VII 健康・安全管理

1 健康・安全を確保するために

(1) 事前準備・指導

- ①参加者の健康状態の把握をしてください。（宿泊翌日も朝の健康観察を）
- ②体調のすぐれない参加者には無理をさせないでください。
・海や山には同行させない。・保護者に連絡して早退させる。
- ③持病・車酔いなどがある場合は、常備薬を持参するようにご指導ください。
- ④可能な限り緊急車両をご準備ください。

(2) 活動中の対策

- ①健康観察を行ってください。
- ②活動前に注意点をスタッフやガイドが説明します。引率者も必ず聞くようにしてください。
- ③装備や活動用具などを確認してください。
- ④活動中の子どもたちの様子をしっかりと把握してください。
- ⑤食づくり体験や創作体験では、包丁やナイフによる切り傷や火などによる火傷を防ぐため、引率者の役割分担（グループの見届け役など）を決めておいてください。
- ⑥活動終了後は、参加者全員の安全（人数・怪我の有無）を確認してください。

(3) センター宿泊中

- ①病人や負傷者が出た場合は、速やかにセンタースタッフにお知らせください。
- ②内服薬はご提供しておりません。各団体に準備してください。
- ③保健室代わりに宿泊室で休養させる場合、必ず引率者の方が付き添いをしてください。
- ④AEDは事務室前に設置しております。野外活動中は体験場所にスタッフが持参します。

2 医療機関への連絡

- ①昼夜関係なく、けがや病気が発生した場合は直ちに事務室に連絡してください。
職員が病院に連絡します。
- ②医療機関への搬送は、各団体の緊急車両で行ってください。

【医療機関】

ハタハタの町診療所 0185-70-4550 体験センターから車で7分
診療日 木・土曜日（9:00～12:00）※土曜日は第2・第4のみ
水曜日（13:00～16:30）

八峰町営診療所 0185-76-3813 体験センターから車で15分
診療日 火～金曜日（9:00～12:00 13:30～17:00）

能代厚生医療センター0185-52-3111 体験センターから車で25分
外来 平日午前
（総合病院 夜間救急外来に対応）

3 火災・地震・津波等の災害発生に備え

(1) 施設内

- ① 各部屋に「避難経路」を掲示しています。避難口を確認しておいてください。
- ② 地震や火災など避難が必要なときは、放送でお知らせします。放送の指示に従って速やかに避難するようにお願いします。

(2) 野外活動時の緊急連絡体制とセーフティスタッフの役割

体験活動に同行する学校引率者から1～2名、セーフティスタッフを決めておく。

◎セーフティスタッフの役割

- ・安全確認や緊急対応のためスタッフガイドや講師と話し合い、危険回避のための打ち合わせや役割分担を行います。
- ・緊急時の初期対応と関係機関への連絡にご協力いただきます。
体験センターへの連絡 救急車の要請

(山の活動では)

登山や散策の場合、セーフティスタッフが安全監視を行います。非常事態となった場合は速やかに安全を確保し、携行した携帯電話で体験センターと連絡をとってください。

(海の活動では)

海上での活動の際、セーフティスタッフが陸上で安全監視を行います。非常時は海上のセンター指導員に状況を伝えます。海からあがった体験者の人数確認を行います。

☆海の活動場所の避難経路図はセンターHPからダウンロードできます。

◎学校団体、団体責任者

- ・体験活動の参加者数を確実に把握しておいてください。
(2班編成で活動場所が離れる場合などは特に注意が必要です。)
- ・緊急車両の準備
- ・連絡名簿の持ち出し
- ・災害時の連絡先の確認

●体験センター事務室

利用団体が野外での活動を実施する際、体験センターでは、セーフティスタッフの携帯電話番号を控えさせていただきます。地震、津波などの非常事態が発生した場合は、無線(センタースタッフが所持)または携帯電話で避難指示と安全確認を行います。野外活動の現場で対応ができない場合は、応援人員を派遣します。

●体験センタースタッフ

体験センタースタッフが指導するシーカヤックの活動にはAEDと無線子機を必ず携帯します。救急セットと救助用浮き輪も体験活動場所へ持ち出します。

災害発生時は団体引率者と連携し、体験者の避難を優先的に行います。

- 1) 海から陸上への誘導
- 2) 海に残っている体験者がいないか確認
- 3) 避難場所への誘導

VIII プログラムの作成

1 作成手順

(1) 「研修のねらい」を明確にする

研修計画を作成する際は、ねらいに沿ってプログラムを計画するようにしましょう。例えば、里山トレッキングを実施する場合、ねらいが「自然に親しむ」なのか「仲間と協力し合う」なのかでは、グループの組み方や学習形態が違ってきます。さらには、前後の活動も変わってくるかもしれません。ねらいを明確にして計画するようにしましょう。

(2) 事前の打ち合わせや現場の下見をする

ねらいに沿った活動を計画するために、活動形態や活動時間などについて相談をお受けします。下見を希望する場合は事前にご連絡ください。活動内容や宿泊室について同日利用団体との調整が必要になる場合があります。

(3) 体験活動プログラムの選択し、「ゆとりのある」計画を立てる

まずは午前・午後の大きな区切りでねらいに沿った体験活動を1つずつ設定しましょう。

例) ねらい：自然に親しみ、感動体験を味わう。

1日目 午前「三十釜散策・森林科学館見学」 午後「留山散策」

2日目 午前「シーカヤック」

屋外で行う自然体験活動は天候に実施を左右されます。荒天時の室内活動も考えておきましょう。(ニュースポーツ・レク体験や創作活動プログラムなどを配置)

活動の準備と片付けの時間も考慮して計画を立てましょう。また、活動の合間にも十分に時間をとりましょう。すき間の時間は、連絡や振り返りの時間などにも使えます。

(4) 体験のしかたや振り返りのしかたを工夫する

活動を通して感じたことを、話したり、書(描)いたりすると、児童生徒に自身の思いが定着します。カタチに残すと自身のポートフォリオにすることもできるでしょう。時間の余裕に応じて、ペア、グループ、全体等の形態を選び、伝え合いシェアリングすることにより、自分自身や仲間への新しい気づきを生むこともできます。

(5) 食事時間の設定と温泉利用の時間を確保

ご飯・お風呂・睡眠は生活の要

- ① ハタハタ館レストランの食事時間を決めましょう。レストランの利用時間はp7、p10を参照してください。前後の体験活動は余裕をもって時間設定してください。

- ・ 食事の準備は食事開始時刻の10分前からです。食事係(配膳当番)は10名程度で決めておきましょう。
- ・ 当日になってからのレストランの食事時間変更はできません。活動終了時刻が予想しにくい場合は弁当やおにぎりの注文をお勧めします。
- ・ 座席は最大60名(8人×6列 + 6人×2列)です。
- ・ 引率者を含めて60人を超える場合は、「入替え交代」とする必要があります。
- ・ 60名以下の団体も同日に利用が重なる団体がある場合には時間の調整が必要です。
- ・ レストランスペースの団体入替には間に50分の時間を要します。



② ハタハタ館温泉について

- ・夜9時まで利用を終えられるようにお願いします。
- ・1回での入浴は男女各20人程度までなので、それ以上の規模の団体は入浴時間を分けて設定しましょう。

例) 前半 1組 19:00～19:50
後半 2組 20:00～20:50

- ・入浴には45～60分を計上しましょう。
- ・児童生徒の見届けをする担当を、引率者の中で割り振っておきましょう。
学校で計画した時間で利用し、できるだけまとまって移動するように願います。
(入浴パスカードの非提示、下足サンダルの脱ぎ散らかし、脱衣場の忘れ物に注意)

2 留意点

- (1) 荒天時のメニューに「食づくり体験」は選べません。
協力団体に人的配置や食材発注を依頼する「食づくり体験」は、実施があるかわからない代替メニューには不適切です。
- (2) 移動手段を確保できているか確かめましょう。
同日に利用の重なる団体がある場合、相手がバスを必要としているかどうかも確認してください。体験センターのバスは2台。八峰町の研修バスが2台(町の行事があれば利用できない)。これらのバスは各学校に割り振られます。
→1台の定員が(補助席を使って)28人であることも忘れずに。
- (3) 体験活動は午前9時から午後4時の間に設定してください。活動の合間にもトイレ休憩や移動、着替えなどに時間が確保されているか確認してください。朝や夜の活動は学校引率者が指導と安全管理を行ってください。

3 体験活動時の引率者の役割

- (1) 引率者は体験活動に同行して児童生徒の指導にあたっていただきます。
- (2) 野外活動時には、セーフティスタッフの役割も担っていただきます。
- (3) 外部指導者を依頼した場合でも、引率者は、指導者(ガイド等)の補助をお願いします。
- (4) 夕食後の活動は、原則、各校の引率者での対応(指導)になります。

4 マイクロバスの利用

- (1) 28名乗り(補助席利用時)のマイクロバスを2台利用できます。
 - ・バス予約が空いている場合、宿泊団体は無料で利用できます。ただし人数の多い団体が3台以上のバスを必要とする場合は、3台目から、運転手同行料として「スタッフガイド料1、500円(1時間)」をいただきます。
 - ・日帰り団体は、シーカヤック、豆腐作り、そば打ち以外は1台目のバスから「スタッフガイド料1、500円(1時間)」がかかります。経費として御計上ください。
- (2) 原則、2台に乗りきれない場合は、活動時間を班単位でずらして設定するなど、活動の仕方を工夫し、ピストン配車で児童生徒を移動させるなどの工夫が必要になります。または、各校でバスをご準備ください。

5 他団体との利用調整

同日利用校が複数になる場合、利用団体間で次のような調整をしていただきます。

宿泊室の部屋割りや特別室の利用について

(「特別室」は温泉×の人のシャワー室や保健室として各学校1室ずつお使いください。)

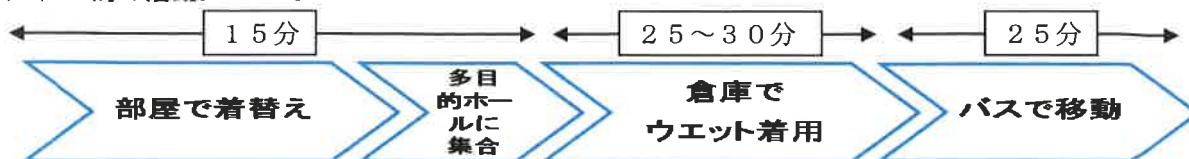
活動内容や時間、バスの使用について

食事の時間と会場について

入浴時間のずらし 入所式や朝の集いの場所や時間 荒天時の活動場所

6 活動の進め方

(1) 海の活動について



① 学校や個人で準備するものについて

- 飲み物：ペットボトル、水筒など（必ず記名）。ジャグボトル等全体で使えるものも可能です。
 - 濡れてもいいTシャツ、ラッシュガード等
 - ・ウエットスーツの下に、水着または、半袖Tシャツや薄い短パンなどを着用してください。
 - ・暑い場合には上半身をめくってウエットスーツを着用します。
 - 半袖Tシャツ等を着用すると日焼け予防にもなります。
- ※海の活動ではマリンブーツを着用します。ビーチサンダル等の準備は特に必要ありません。

② カヤックの班分けについて

- ・カヤックは基本的に2人組です。
- ・3人組は2組までです。体格の大きい子同士だと操作が難しくなります。

③ 7月～9月の活動について

- ・場所は中浜（ファガス裏）です。外海となるため、波の状態では実施できない場合もあります。
- ・1回で実施できる台数は10台までとします。（基本的に2人組で、20人程度まで）
- ・20人以上の場合、海水浴、磯遊びとの組み合わせになります。

活動例

	9	10	11	12	1	2
活動準備	バス移動	シーカヤック 中浜	バス移動	海水浴 センター下 滝ノ間海岸	徒歩移動	昼食・休憩
	徒歩移動	海水浴 センター下 滝ノ間海岸	バス移動	シーカヤック 中浜	バス移動	

- ・海水浴の場所は、滝ノ間になります。移動時間は7～8分です。
- ・涼しい場合ウエットスーツを着用します。天候がよく気温が上がった場合、短パン、半袖にライフジャケット着用でも可能です。水着の上に濡れてもよい短パン、半袖（Tシャツ、ラッシュガード等）を準備してください。

(2) 山の活動について

① 服装について

- ・長袖のシャツ、上着、長ズボン、帽子、長めの靴下、軍手、タオルを必ず準備してください。

② ガイドについて

- ・ガイド1名に8名程度、多くて10名程度が望ましいです。
- ・登山道、散策路が狭いため人数の多いグループでは後ろまで聞こえません。

③ 虫よけについて

- ・現地に到着してからかけるようにしてください。

④ 飲み物について

- ・必要に応じて、ペットボトル、水筒を準備して下さい。

【80～100名規模の自然体験活動例】

体験活動のグループは25人程度が基本になります。

移動のためのマイクロバスの定員が28名

シーカヤックの乗員数が30名

80人規模であれば3グループ、100人規模であれば4グループで、活動を構成していきます。

ニツ森登山、留山散策は登山道、散策路が狭いため50人以下での活動が望めます。

それより多くなる場合は、待ち時間が増えるため、別の活動と組み合わせる必要があります。

御所の台里山散策、十二湖散策は人数制限がありません。

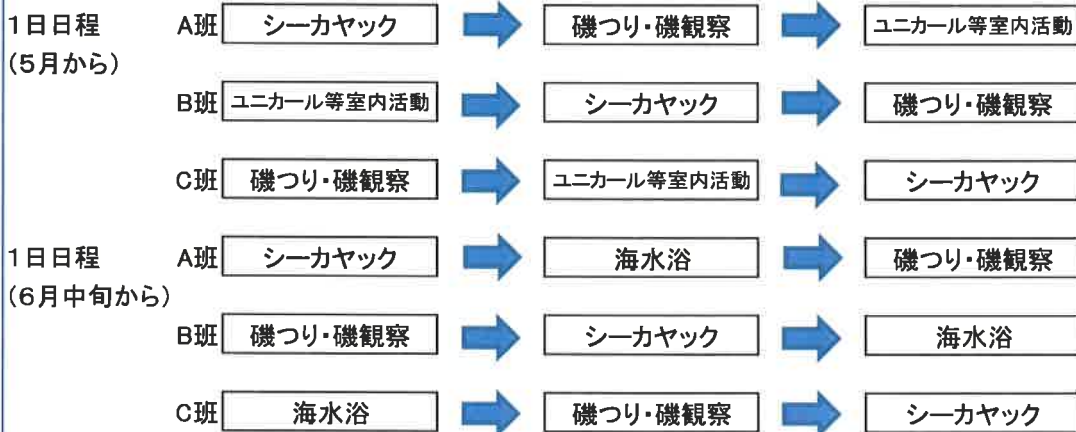
(注) バスは28人乗りが2台です。

海の活動は2グループ50程度が適正範囲です。

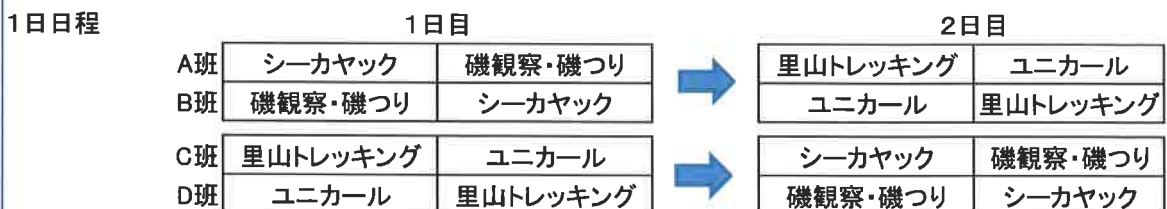
海の活動で使用するライフジャケット、ウエットスーツ、マリンスーツは大小合わせて100名分あります。

単一学年の場合、使用するサイズがある程度限られるため、一度に装着できる人数は50人程度です。

3グループで海の活動を中心にする場合のローテーション例



4グループで海の活動をする場合のローテーション例



80人以上でニツ森登山や留山散策をする場合の例(1班50人以下で活動します)



資料 体験活動メニュー（セカンドスクールの利用の学校用）

(1)山の活動 山の活動は、現場の条件(倒木、土砂災害、強風、雷、濃霧等)により実施できないこともあります。荒天時の代替活動も御計画ください。

体験センターには28人乗りのマイクロバスが2台あります。

体験活動の移動に使用するバスは、正席22+補助席6の28人乗りマイクロバスです。←依頼したガイドさんも同乗するので席数に注意してください。

原則、センターが手配するバスを利用する際には、1台1時間あたり1500円のスタッフガイド料が発生します。

但し、宿泊利用校にはマイクロバス2台までをスタッフガイド料無料とし、移動の便宜を図ります。

日帰り利用校からは、「山の活動」の「ニツ森登山」「留山散策」「十二湖散策」に際して体験センターがバスを用意した場合に、スタッフガイド料をいただきます。

宿泊利用団体においても、3台以上のバスを必要とする場合は3台目からスタッフガイド料をいただきます。

※スタッフガイド料の算出にあたっては、出発から帰着までの時間に加え、準備・清掃のための時間分を加算した請求額になります。

※今年度より、熊対策としてガイド1名につき対応できる人数は8名までとさせていただきます。

活動名	内容等	場所	標準時間	備考欄 ガイド費用等
[今年度実施未定] ニツ森登山	白神山地核心地域に限りなく近いニツ森山頂。 山頂からは世界自然遺産地域が一望できます。	白神山地 ニツ森	移動 バス60分 2時間30分 移動 バス60分 計4時間30分	ルート開通は5月末、6月から10月中旬頃まで入山できます。 白神ガイド1名12000円 (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。) ※ガイドなしで学校対応も可 日帰り利用校はバス1台につきスタッフガイド料7500円(5時間計算)
留山散策	八森岩館県立自然公園のなかにある自然林を散策し、森林保護や森林の働きについて学習できます。八峰町白神ガイドの会のガイド同行が必要です。 希望によりみこしの滝浴びまつりで知られる白瀑神社の滝見学もできます。(追加15分必要)	八峰町 留山	移動 バス30分 1時間～ 移動 バス30分 計2時間30分	必ずガイドを依頼のこと 白神ガイド1名5000円 (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。) 他団体と留山コースの利用が重なる時は、白瀑神社へ立ち寄れないことがあります(バスピストン運行の時間調整のため)。 日帰り利用校はバス1台につきスタッフガイド料4500円(3時間計算)
ジオサイトツアー	八峰町のジオサイトスポットを巡ります。地球の息吹を感じられるかもしれません。コースは希望に応じて設定可能。	八峰白神 ジオパーク区域内	2時間程度 (バスで巡ります)	ジオガイド1名5000円(2時間) (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。)
三十釜散策	真瀬川溪流沿いの景勝地「三十釜」の散策路を歩きながら、真瀬渓谷の景観と自然観察を楽しみます。	三十釜溪谷	移動 バス10分 1時間 移動 バス10分 計1時間20分	白神ガイド1名3000円(三十釜の案内のみの場合) (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。) 三十釜溪谷の入口にある森林科学館見学とあわせて行うことを勧めます。 ※ガイドなしで学校対応も可
森林科学館見学	森林科学館では、白神山地の形成やブナ林の働きについて、展示物やガイドさんのお話から学ぶことができます。	森林科学館 (ぶなっこだんど)	移動 バス10分 30分～1時間 移動 バス10分 学校の計画により変動	入館は無料 ※ガイドなしで学校対応も可 ガイドに説明を依頼する場合はガイド1名1500円 ※三十釜散策とあわせて行うのが効果的です。
御所の台 里山トレッキング	時間に応じてコースを選択できます。八峰町の海岸線を見渡せる絶景ポイントがあります。マップを見ながら歩いてトレッキングクイズを楽しむ班別行動にも適しています。海に面したちょっと急な斜面で、山登り体験ができます。	あきた白神駅裏 御所の台里山	移動 徒歩10分 1～2時間 移動 徒歩10分 約2時間	白神ガイド1名5000円 (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。) ※ガイドなしで学校対応も可 ※コースマップあり
十二湖散策	青森県深浦町にある津軽国定公園「十二湖」。ブナの林と青池が有名です。奥十二湖駐車場から徒歩で青池とブナ林を巡り、王池駐車場に出てくるコースが標準コース。往復の車中は日本海の絶景も満喫。	十二湖周辺	移動 バス50分 1時間30分 移動 バス50分 計3時間10分	白神ガイド1名7000円 (ガイド1名が対応できる人数は8名までです。) ※ガイドなしで学校対応も可 日帰り利用校はバス1台につきスタッフガイド料6000円(4時間計算)

(2) 海の活動

海の活動は、現場の条件(強風、雷、波の状況等)により実施できないこともあります。荒天時の代替活動も御計画ください。

活動名	内容等	場所	標準時間 (想定20名)	備考欄 注意事項等 及び 料金
◎ シーカヤック	防波壁に囲まれた岩館海浜プールは、浅瀬が広がる比較的安にカヤック体験できる場所です。岩場を通り抜けるコースもあります。カヤックは2人乗り11艇を保有(7月上旬～8月中旬は8艇使用可)。3人乗り2艇もあります。同じカヤックに乗り込む仲間と息を合わせた操作を行い、力を合わせて海上散歩をする体験活動です。夏場、岩館海浜プールが海開きで一般開放される期間は、中浜海岸が体験場所になります。 【体験可能期間】 5月中旬～6月下旬……岩館海浜プールにて 7月上旬～8月中旬……中浜海岸にて 8月下旬～9月下旬……岩館海浜プールにて 10月は気温・水温が低くなり、活動実施に適しません。	岩館海浜プール または中浜海岸	水着等への着替え10分 ジャケット等の着用20分 バス移動10分 体験 約1時間(カヤック準備と操作説明、活動後の振り返りを含む) カヤック運び・洗い20分 バス移動10分 ジャケット洗い・返却10分 シャワー・着替え10分 計2時間30分～	体験者は水分補給用の飲み物を必ず用意してください。 マリンブーツ、ライフジャケット(必ず着用)、ウエットスーツ(夏場の着用は要相談)の貸出あり。 センタースタッフが指導に当たりますが、学校引率者にも「セーフティスタッフ」として指導補助や見届け(安全指導)を行っていただきます。 1回の活動は児童生徒20人程度に対応。人数が多い場合は「海水浴・磯遊び」と組み合わせて交代制で行います。2班交代にする場合は追加30分の時間を計上してください。 【料金】宿泊・日帰り利用とも学校団体は1人500円(学校引率者については、セーフティスタッフや指導補助の役割に御協力いただくのでカヤックを使用しても体験料はいただきません。)
▲ 海水浴・磯遊び	深場で泳いだり、磯で生き物を探したりする、海に近い体験センターならではの体験活動です。体験者の年齢等状況に応じて「岩館海浜プール及びその周辺の磯場」、センター下の「滝の間海岸」の活動場所を選択できます。	岩館海浜プール またはセンター下	水着等への着替え10分 ジャケット等の着用20分 移動10分 体験 約1時間 移動10分 ジャケット洗い・返却10分 シャワー・着替え10分 計2時間10分～	体験場所での指導と安全管理は、原則学校引率者による対応。 マリンブーツとライフジャケットを貸出。活動後にシャワー室使用。 【料金】1人300円(マリン用具貸出料) (シーカヤックと組み合わせる場合においては、この料金は徴収しません。)
▲ 磯釣り	竹竿を使った釣り体験です。釣り糸を垂らしてのんびり海の風景や潮風を楽しみましょう。磯場ではアジが回遊し、入れ食いになることも。岩場の根魚も狙えます。釣り餌はオキアミを使用。竹竿は40セットあります。 釣った魚は活動後に海にリリースしてください。	センター下または 岩館海浜プール	ジャケット着用10分 竿等用具配付10分 説明・安全注意10分 移動 10分 体験 50分～ 移動・片付け等 30分 計2時間～	体験場所での指導と安全管理は、原則学校引率者による対応。 釣り針でケガをしないように長袖・長ズボンの着用をおすすめします。安全のためライフジャケットは暑くても必ず着用してもらいます。 4～5人のグループ編成をお願いします。釣った魚を入れるバケツと餌がグループに1セット配られます。 【料金】1人400円(ライフジャケット・竹竿・餌代すべて含まれます)
▲ 海辺の自然観察	「海岸線の植物」「磯の生き物」などのテーマで自然観察をします。白神ガイド講師を依頼した学習指導が効果的です。	センター下ほか	(ジャケット着用10分) ガイド顔合わせ10分 移動10分 1時間～ 移動10分 (ブーツ洗い等10分) ガイドとのお別れ 計約2時間	原則として外部指導者を要請のこと ガイド1名5000円(2時間以内の料金、延長1時間ごとに2000円増) (ガイド1名が対応できる人数は8名程度です。) 学校引率者も指導補助や安全指導に協力してください。 ガイドは水着を着用しません。基本的に児童生徒も潮だまりでの観察活動では泳がないようにしてください。 【料金】1人300円(マリンブーツとライフジャケットを使用の場合) ※生き物は持ち帰らないでください。
ビーチコーミング	海岸に流れ着いた漂流物を集めて、気付いたことを話合うなどしながら生活との関わりを考察。工作材料にもできます。	センター下 (滝の間海岸)	準備 15分 1時間 片付 15分 計1時間30分	体験場所での指導と安全管理は、原則学校引率者による対応。 ※生き物は持ち帰らないでください。

◎(センタースタッフが同行して指導に当たります。) ▲(貸出・返却の際にスタッフが説明・確認をします。活動は基本的に学校対応) 無印(各利用団体で実施してください。)

センター下の滝の間海岸へ行く場合は徒歩による移動です。体験センター中庭から階段を使ってすぐ海岸へお入りいただけます。
岩館海浜プールや中浜海岸への移動には、体験センターのバス(ビニールシートカバー装着)を使います。体験センターが体験料を収受する海の活動においては運転業務に係るスタッフガイド料の発生はありません。
シーカヤックや海水浴・磯遊びのあとは、濡れたマリングッズ装備のままバスに乗車して、体験センターの屋外シャワー倉庫へ戻ってから着替えます。
(引率含め56人をこえる団体はバスのピストンによる移動となります。海の活動においては追加のバスは手配はできません。外部より借用したバスはシートを濡らす使用ができないため。)

(3) 創作活動

活動名	内容等	場所	標準時間	備考欄 使用工具と注意事項等 及び 1人あたりの料金
◎ 貝がらストラップ	麻ひもを編んで作るストラップです。貝がらを途中で編み込んで八峰町の海の思い出に。人数が多くて一斉にできます。	体験センター	ねじり結び 1時間 丸四つたたみ90分	挑戦する編み方によって難易度と所要時間が変わります。「丸四つたたみ」の編み方は手順が多いので中学生・高校生向けです。 【料金】 宿泊団体:300円 日帰り:500円
◎ バードコール	バードコールは、木と金属の軸からなるシンプルな楽器で鳥の鳴き声に似た音を出します。里山の木の枝を材料にして作るネイチャークラフトです。 1回20名程度まで	体験センター	1時間30分	電動ドリルを使います。2台を交代で使うので人数が多い場合は活動時間の設定に余裕をもってください。小刀、ホットペンの使用があるので引率者も安全指導にご協力を。 【料金】 宿泊団体:300円 日帰り:500円
◎ ジェルキャンドル	砂、貝殻、シーグラスなどを使い、海をテーマにしたオリジナルキャンドルをつくります。室内飾りとしても実用品としても使えます。 1回20名程度まで	体験センター	1時間30分～ 2時間	ジェルキャンドルワックスを温めるため、ホットプレートを使います。サイズ(大・小)が2種類あります。制作後固まるまで時間を要します。(退所直前の制作には向きません) 【料金】 大サイズ 宿泊団体:800円 日帰り1000円 小サイズ 宿泊団体:500円 日帰り:800円
◎ 思い出ビンビン	八峰町の海の記憶をピンづめにします。ガラス瓶に八峰町の砂と貝がら、シーグラスなどをレイアウト。ガラス瓶にペイントマーカーで絵を描いて仕上げます。	体験センター	1時間	ペイントマーカー使用 ガラス瓶を使用(持ち帰りに箱は付きません。割らないように注意) 【料金】 宿泊団体:300円 日帰り:500円
◎ 小枝のボールペン	八峰町の里山や海岸でスタッフが収集した小枝を素材に、オリジナルボールペンを作るネイチャークラフトです。 1回16名程度まで	体験センター	1時間30分～ 2時間	素材に生木の使用は向きません。拾った枝での工作は不可。 電動ドリル使用。2台を交代で使うため人数が多い場合は活動時間の設定に余裕をもってください。はさみ、小刀、ホットペンの使用もあります。引率者も安全指導にご協力を。 【料金】 宿泊団体300円 日帰り500円
◎ マイ箸づくり	エコブームでマイ箸持参の方が増えています。1歩進んで自分だけの箸づくりに挑戦。 1回10名程度まで	体験センター	2時間	鉋(カンナ)使用 ヒノキの角棒を1本4面削ります(×2)。 治具4台を交代で使うため人数が多い場合は時間がかかります。時間に余裕をもって計画してください。 【料金】 宿泊団体:300円 日帰り:500円
◎ オリジナル缶バッジ	自分だけのオリジナルなバッジづくりができます。サイズ(大・小)が2種類あります。 1回20名程度まで	体験センター	1時間	画材はコピー用紙と色鉛筆を使用 缶バッジ製作工具は大小サイズとも各1組です。交代で使います。 デザイン画が完成次第、工具を使用してバッジ完成となりますが、多少順番待ちが生じます。 【料金】 大サイズ 宿泊団体:200円 日帰り:300円 小サイズ 宿泊団体:100円 日帰り:200円
◎ 木の葉のしおりづくり	押し葉をラミネートしてしおりを作ります。ブナやカエデなど豊富な種類からお気に入りを選んでレイアウト。	体験センター	1時間	ラミネーター使用 ラミネーターは2台あり、順番に使います。 台紙切りぬきやリボンの末端処理にはさみ使用 【料金】 宿泊団体:100円 日帰り:300円
◎ 石のペイントアート	海の小石に色付けし、オリジナル置物にしたりペーパーウェイトにしたりします。	体験センター	1時間	ペイントマーカーで彩色します。乾燥を含めて1時間程度。 【料金】 宿泊団体:100円 日帰り:200円

◎(センタースタッフが指導に当たります。)

・創作体験は主に体験センター2階の研修室が会場になります。体験料金をいただく創作体験では日帰り利用でも研修室使用料の請求はいたしません。

・人数定員を確認のこと。大人数での体験の場合、交代制となるので、倍の時間を設定するなど活動時間に余裕をもって計画してください。

・退所日の午後にかかる創作活動は、スタッフの配置の都合上、お受けできません。

(4) ニュースポーツ&レクリエーション

活動名	内容等	場所	時間	備考
▲ ユニカール	室内版カーリングです。マット5本あり(5レーン設置可)。ルール説明はセンタースタッフがを行います。 ※研修室の場合、マット2本まで使用可能です。	多目的ホール または研修室	準備・説明15分 活動1時間～ 片付け・モップ15分 計1時間30分～	3～5人のチーム(グループ)編成をしてください。 チーム数は偶数にして、待ちチームをつくらないのが○。 何レーン使用するか決めておいてください。 ルールについてスタッフが説明しますので、レーン設置や片付けは実施団体で行ってください。
ドッジビー (フライングディスク)	ドッジビーはフライングディスクを使ってドッジボールを行うものです。	多目的ホール	活動45分～ 片付け・モップ15分 計1時間～	電子ホイッスル、タイマー、フライングディスク、ビブスを使用できます。
▲ キンボール	大きなボールを用いて、ヒット・レシーブを繰り返し、ボールを床に落とさないようにして点を競い合います。 ルール説明はセンタースタッフがを行います。	多目的ホール	準備・説明15分 活動1時間程度 片付け・モップ15分 計1時間30分～	1チーム4人のチーム編成をしてください。 ゲームには多目的ホール(小体育館)全面を使います。 1ゲームは、ピンク・ブラック・グレーの3チームが同時にコートに入っていきます。(1回のゲームで12人がプレー) ルールについては、スタッフが説明をします。

◎(センタースタッフが指導に当たります。) ▲(貸出・返却の際スタッフが説明・確認をします。) 無印(各利用団体で実施してください。)

- ・ 用具はきちんと片付けていただけることを条件に、無料で貸し出します。
- ・ バドミントン、バスケットボール、ソフトバレーボール、ペタンク、長縄、ミニテニスなどもできます。(用具の数に限りがあるので要相談)
- ・ 利用日の重なる他団体のお弁当会場や荷物置き場になっていることもあります。多目的ホールが空いているときにのみ利用可能です。
- ・ 【料金】ニュースポーツ&レクリエーション→ 宿泊団体は無料。日帰り団体は多目的ホール使用料として1時間あたり1100円が必要となります。

【山や海の自然体験活動が荒天のためできなくなったときの代替活動を設定しましょう】

- ポイント→
- ・ 屋内でできる「創作活動」メニューや「ニュースポーツ&レクリエーション」メニューなどから選ぶのが簡単。
 - ・ 体験センターの活動メニューにとらわれずに、先生が準備してきた活動でもOK！(アイスブレイク的な活動など)
 - ・ 食材の手配や講師依頼が必要な「食づくり」は、実施するかどうかわからない「代替活動」に設定できません。
 - ・ 宿泊団体と日帰り団体では体験料に差があったり、多目的ホール・研修室使用料が異なったりします。

例1(宿泊団体) 晴天時「シーカヤック」500円、2時間30分 → 荒天時「貝殻ストラップ」300円+「缶バッチ」(小サイズ2個作成)200円+作品鑑賞と振り返り
★予算を揃えた例。作品鑑賞や振り返りの時間を入れて活動時間もほぼ同等。

例2(日帰り団体) 晴天時「児童24名 留山散策(白神ガイド3名依頼・バス1台有料)」の場合、白神ガイド料15,000円+スタッフガイド料(バス運転同行)4,500円 計19,500円
→荒天時 12人ずつの2つの班に分け、前後半交代。一方が「小枝のボールペン」もう一方は「ユニカール」。
「小枝のボールペン」(日帰り体験料金1人@500円×24人)12,000円、所要時間は1時間30分×2
「ユニカール」多目的ホール使用、2レーン設置。3人ずつの班4つで総当たり戦を行う。日帰り団体の多目的ホール使用料(1時間@1,100円×3時間)3,300円
★時間をほぼ同等にした例。(この場合、晴天時の予算との差は4,200円。)

- ・【必携準備物】体験者と引率者は、エプロン・三角巾・ハンカチ(手拭き用)、マスクをご持参ください。
 - ・体験センターが、食づくり体験を提供している連携事業所へ体験者数の連絡をいたします。
- (5)食づくり体験 児童生徒の申込数に加え、引率者が体験するかどうかもお知らせください。(豆腐づくりの場合は引率者の方も体験をおすすめします)

活動名	内容等	場所	時間	備考 及び 1人あたりの料金(一部、年齢により区分けあり)
白神こだま酵母 パンづくり体験 (駅パン)	白神こだま酵母を使ったパン作り体験です。生地作りから体験できます。白いパンとくるみ入りの茶色いパンを作ります。推奨20名まで(最大40名まで対応できますが21名以上の場合は追加30分ほど時間を要します。)	あきた白神駅 緑地管理センター	徒歩移動5分 体験2時間30分 (発酵待ちを含む) 徒歩移動5分 計2時間40分	食物アレルギー品目の確認は体験センターHPに情報掲載。 途中、生地の発酵を待つ時間を挟みます。 食事スペースはありません。敷物持参で緑地公園で食べるか、体験センターへ持ち帰って食べます。 学校引率者も児童生徒と同料金です。 【料金】小・中学生800円 高校生以上1200円
白神こだま酵母 ピザづくり体験 (駅ピザ)	白神こだま酵母を使ったピザ作り体験です。生地作りから体験できます。ポテト・タマネギ・ソーセージ・コーンなどをトッピング。 推奨20名程度(最大30名まで対応)	あきた白神駅 緑地管理センター	徒歩移動5分 体験1時間30分 徒歩移動5分 計1時間40分	食物アレルギー品目の確認は体験センターHPに情報掲載。 包丁を使います。 食事スペースはありません。敷物持参で緑地公園で食べるか、体験センターへ持ち帰って食べます。 【料金】1人1200円(児童生徒・学校引率者共通)
豆腐づくり体験	豆乳から一人一人が個別の鍋で行う豆腐づくり体験。 できたてのあったか豆腐が食べられます。 推奨20名程度(最大30名まで対応)	松岡食品	バス移動15分 体験1時間30分 バス移動15分 計2時間	児童生徒に同行する学校引率者も体験してください。 大豆アレルギー要確認。 豆乳ソフトクリームとおからドーナツ1個付き。 【料金】小学生、中学生 800円 高校生以上 1000円
もとだて 本館そば打ち体験	八峰町名産のそば粉を使用して、そばを打ちます。 打ちたてのそばを食べられます。 講師は、本館そばの会の方々です。 推奨20名程度	夕映えの館隣の そば打ち体験館	バス移動15分 体験2時間 バス移動15分 計2時間30分	そばアレルギー要確認。包丁を使います。 基本4名程度でグループ編成をお願いします。 用具を共有したり、そば生地に交代して触れたりします。 【料金】1人1500円
郷土料理体験	だまこ鍋づくりの体験です。ご飯をつぶして「だまこ」にしたり、具材の野菜を切って鍋づくり体験と食事。 講師は「おらほの館」の方々です。 体験センターへ出前指導に来てくれます。 推奨20名程度(最大25名まで対応)	体験センター内 2Fホールと 第2研修室	2時間30分	包丁を使います。 4~5人のグループ編成をお願いします。 食事の際、第2研修室に6つあるテーブルに4~5人掛け(対面)となります。 【料金】小学生2,200円 中学生以上2,700円
◎ 白神ピザづくり (センターピザ)	白神こだま酵母を使った生地を使用。タマネギ・ピーマン・ベーコン・トマト・チーズをトッピング。家族にも作り方を教えてくれるホットプレートで焼き上げるピザ。 20名以内(4人以上)	体験センター内 第2研修室	説明15分 体験1時間30分 片付け15分 計2時間	包丁を使います。 体験センターが提供する食づくり。 4人ずつのグループ編成をお願いします。片付けと洗いものも児童生徒に体験してもらいます。学校引率者も児童生徒と同料金です。 【料金】1人800円
◎ 棒パンづくり	火おこしから始め、棒にパン生地を巻き付け炭火であぶって焼き上げます。 白神こだま酵母を使ったパン生地を使用。 20名程度まで(4人以上)	体験センター屋外	1時間30分	炭火を使います。 体験センターが提供する食づくり。火の粉防止のため長袖・長ズボン着用。 学校引率者も児童生徒と同料金です。 【料金】宿泊団体:400円 日帰り:500円

◎(センタースタッフが指導に当たります。) 無印(各施設の講師が指導に当たります。)

(6)防災教育関連活動

活動名	内容等	場所	時間	備考
◎ 炊き出し炊飯①	ハイゼックスの袋を使った湯煎炊飯とレトルトカレーで非常時の食づくりを体験。(30名程度まで)	体験センター	準備後片付け含め 2時間	エプロン・三角巾・ハンカチ(手拭き用)、マスクをご持参ください。 【料金】1人600円
◎ 炊き出し炊飯②	ハイゼックスの袋を使った湯煎炊飯と、ポリ袋を使ったカレーづくりで非常時の食づくりを体験。(30名程度まで)	体験センター	準備後片付け含め 2時間30分	エプロン・三角巾・ハンカチ(手拭き用)、マスクをご持参ください。 【料金】1人800円
◎ 災害時に役立つ 道具づくり	非常時に役立つ知恵と技術を学ぶことができます。 標準コース…ブルーシートテントづくり その他…新聞紙スリッパづくり	体験センター	内容により 1時間～	テント材料は 最大6張まで用意できます。 (6班編成まで対応) 【料金】体験する児童生徒から1人100円

◎(センタースタッフが指導に当たります。)

【各体験活動の時刻・時間設定に関するお願い】

・体験活動の設定時刻は、午前9時以降の開始とし、午後4時を目処に完了となるように御設定ください。
(スタッフの勤務開始は午前8時30分。業務と活動実施の安全確認のため、午前8時45分までは事務室で打ち合わせを行っています。勤務終了はスタッフの半数が午後4時15分、残り半数は午後5時15分まで。清掃・後片付けを含めて勤務時間内の対応とさせていただきます。)

・1日目の夕方以降は体験センタースタッフの数が限られているため、体験活動メニューは入れないでください。(学校対応でレクリエーションなどは可)

・ハタハタ館の温泉入浴の受け入れ時間が午後9時まで(厳守)になっています。夜の活動を設定する学校は、入浴タイムを圧迫しないように御注意ください。

X 経費と支払い

1 宿泊関係の施設利用料

(円)

区分	宿泊料 (リネン料含)	食事料(円)			入浴料	合計
		朝食	昼食	夕食		
小学生未満	1,980	1,000	1,000	1,200	0	5,180
小学生	1,980	1,000	1,000	1,200	300	5,480
中学生	1,980	1,000	1,000	1,200	700	5,880
高校生, 専門学校生, 大学生等	2,530	1,000	1,000	1,200	700	6,430
学校引率者	3,520	1,000	1,000	1,200	700	7,420

◇学校価格につき、一般利用と金額が異なるものもあります。

※宿泊途中での帰宅は、料金はいただきません。

※食事等、キャンセルできない場合は、実費となります。

2 日帰り体験時の施設利用料(1時間あたり)

(円)

研修室	第1研修室、第2研修室(調理)	550
多目的ホール	レクリエーション等 運動場	1,100

3 外注食の料金

(円)

おにぎりセット	おにぎり2個、からあげ 他	650
弁当		750
おにぎり単品(1個)		180
ペットボトル飲料	アクエリアス 500ml	180
ペットボトル飲料	麦茶、緑茶(選べます) 500ml	180

※持ち込みで冷蔵庫使用も可能(空きのある場合)です。取り出し、移動等は各校でお願いします。

★支払いは「振込払い」になります。

指定の金融機関でお振込みください。

※個別の請求書の発行は、直接ご相談ください。

留山散策

- 理科 小4 「水のしみこみ方」
「雨水の流れ方」
小5 「わたしたちの暮らしと災害」
- 社会 小4 「水はどこから」
小5 「わたしたちの生活と森林」
「自然災害を防ぐ」



センターピザ

- 家庭 小5・6
「クッキングはじめての一步」
「食べて元気に」
「いっしょにほっとタイム」

体験活動メニューと 教科との関連

シーカヤック

- 体育 自然とのかかわりの深い水辺活動
集団行動
- 道徳 自然愛護 友情、信頼 規則の尊重



ジオサイトツアー 鹿の浦展望台→樫海岸の柱状節理→ 中浜海岸のブラックサンドビーチ

- 理科 小6 「大地のつくり」
「変わり続ける大地」



あきた白神体験センター

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53-1
URL:<https://www.town.happo.lg.jp/shirakami-taiken/>

TEL:0185-77-4455

FAX:0185-77-4456

